

# 一般質問の概要

平成 29 年第 1 回 二宮町議会定例会

○3月13日（月）午前9時30分～

（善波宣雄、添田孝司、露木佳代、二宮節子、小笠原陶子、柳川駅司 各議員）

※2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。

※議員の質問時間は、1件につき40分、2件以上は60分です。ただし町執行部側の答弁時間を含みません。

No	質問予定議員	質問概要
1	善波宣雄 議員	<p><b>二宮町役場庁舎・駅前町民会館の今後の検討について問う</b> <b>（放映件名：役場庁舎・駅前町民会館の今後について問う）</b></p> <p>昨年、6月8日に一般質問致しました「二宮町役場庁舎・駅前町民会館の安全性について」、庁舎に関しては、将来的に災害対策本部としての機能の位置づけがあるため、耐震性のある庁舎としなければならないという前提に立ち、改めて耐震診断結果、及び公共施設再配置計画の策定状況等を踏まえるほか、町全体として、事業の優先度、財源などについても、総合的に検討し、早期に方向性を見出すよう努めるとの回答でした。</p> <p>次年度に、災害時に災害対策本部機能とともに、行政機能確保に向けた庁舎のあり方を比較・検討するための調査を実施する予算を計上されております。</p> <p>その調査内容を含め、現段階における進捗状況など、以下のことについて伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 災害対策本部となる役場庁舎の今後の検討について</li><li>(2) 役場庁舎の立地場所の考え方について</li><li>(3) 耐震補強出来ない駅前町民会館の今後について</li></ul>
2	添田孝司 議員	<p><b>オリーブの6次産業化の進捗状況について</b> <b>（放映件名：オリーブの6次産業化の進捗状況について）</b></p> <p>二宮町は平成24年をオリーブ元年と位置づけ一色地区に試験圃場を開設し、今日に至るまで農業者に苗木の助成配布を行っている。また、関連団体及び他市町との連携を図りオリーブの産地化、ブランド化を目指し、更には湘南オリーブという地域ブランドで観光資源のひとつとして町の活性化につなげる事業展開をしている。</p> <p>オリーブは収穫した実をそのまま食することができず、加工をして販売する6次産業化により成り立つ農産物である。栽培、加工、販売従事者が個々に計画や戦略を立てることは難しく町が調整役となる必要がある。二宮町の目標に向けた6次産業化の3つの分野の進捗状況及び町園芸協会オリーブ部会と湘南オリーブ振興協議会の進捗状況について問う。</p> <p>1. 現在までの助成配布の本数と生育している本数、栽培の課題と解決への取り組み状況、品種の最適化状況、また、神奈川県農業技術センターとの連携状況について</p>

2	添田孝司 議員	<p>2. 加工品の開発と製造の進捗状況、特に町の多くが小規模栽培農家であるが、そのような農家の採算性が確保できる出荷先や加工製造について</p> <p>3. 加工品の販売戦略について</p> <p>4. 町園芸協会オリーブ部会及び湘南オリーブ振興協議会の進捗状況について</p>
3	露木佳代 議員	<p><b>中里地区にある西友前の歩道橋付近に横断歩道を設置することについて</b>  <b>(放映件名：中里地区の西友前横断歩道の設置について)</b></p> <p>これまで10年にわたり、中里地区から西友前の県道71号秦野二宮線にかかる交差点を安全に横断するための改善要望が出されてきた。高齢化が進み、階段を登ることができない人が増えていく中で、歩道橋を撤去し、横断歩道を設置する作業は全国的にも進んでいる。</p> <p>ちょうど2年前、3月議会において、中里地区から「道路横断に安全な施設の整備を求める意見書の提出を求める陳情」が出され、教育福祉常任委員会で審査ののち、全会一致で採択した。その後、県や警察への働き掛けにより現地視察が行われ、昨年3月には、非公式ではあるが、大磯警察、町、議会、関係地区の代表者による意見交換があった。</p> <p>大磯警察は、町民の合意形成さえあれば、歩道橋はそのままに横断歩道の設置を進めるとのことだが、それから1年以上が経過している。町がいつ、何をを行い、どのように町民の合意形成を進めていくのかを確認したい。</p> <p>1. 横断歩道設置をした場合の懸念材料と対応策について</p> <p>2. 来年度に予定している調査について</p> <p>3. 渋滞予測や抜け道になりそうな道路の利用・通学の安全確保について</p> <p>4. 設置までと、設置以降、どのような時間軸を持って、何をするのか、その役割は</p>
4	二宮節子 議員	<p><b>消防力の更なる充実強化について</b>  <b>(放映件名：消防力の更なる充実強化について)</b></p> <p>昨年12月市街地での火災の焼損棟数としては最大の糸魚川大火が発生。おりからの強い南風の影響で燃えた住宅や商店などは、約144棟に上りうち120棟が全焼、約200人が被災しました。延焼範囲は4万平方メートルと広範囲に及び、ほぼ消し止められるまでに10時間を要しました。この大規模火災を契機に住宅や店舗などが密集した市街地における大火の危険性や消火活動の難しさが改めて議論の的となっています。そこで糸魚川大火の教訓を踏まえ、燃え広げない対策を含めた消防戦略について以下4点伺います。</p> <p>①昨年末の糸魚川大火の教訓を当局はどのように認識されているのか。</p> <p>②我が町の住宅密集地をどのように認識し、またその地域への体制整備を伺う。</p> <p>③地域の実情に合わせた消防戦略を伺う。</p> <p>④「自分たちの地域は自分たちで守る」姿勢が問われています、どのように醸成していくのか。</p> <p>次に、平塚市・大磯町・二宮町共同消防指令センターが4月1日からスタートする。これに伴い平塚市では、音声による通報が困難な方のためのNET・119・緊急通報システムも運用を開始するが、我が町の取組を伺う。</p>

5	小笠原 陶子 議員	<p><b>利用しやすく良くわかる高齢者生活支援サービスについて</b>  <b>（放映件名：利用しやすい高齢者生活支援について）</b></p> <p>二宮町は一人暮らしの高齢者が増加している。介護保険認定を受けていない体の弱い高齢者や軽い認知症のかたでも在宅で暮らせる仕組みが求められている。そこで以下の点を質問する。</p> <p>①高齢者の在宅生活支援サービスは主に町の事業と社協に委託しているものやシルバー人材センター等のものがあるが一度にすべてのサービスがわかるものがない。一人暮らしが増えている二宮町においてその家族や本人が、どのような生活支援サービスが利用できるのかすぐにわかる一覧表を作成すべきだがどうか。</p> <p>また、町のホームページでは全く在宅支援サービスがわからない。ホームのトップページから、健康・医療＞高齢者福祉＞介護・福祉サービスのページを開けると、高齢者の支援サービスについて知りたいのですが。というのが出てくるのでそこを開くと、A.生活援助（庭の草取りや部屋の掃除、毎日出るゴミ出し等）を通常料金から割引して利用できる「ほっと安心ヘルパー支援」があります。というのがひとつだけ書いてある。一人暮らしの高齢者と離れて暮らす家族や友人が、二宮町の高齢者の支援を調べたら、それだけかと思ってしまう。もっと、ホームページの内容充実を真剣に考えるべき。担当課は日常業務に追われて行き届かないのなら違う仕組みを作ることが重要だ。町の見解を伺う。</p> <p>②町は二宮町社協に委託し、福祉サービスの充実をはかっている。また、二宮町社協の独自の事業も展開している。その中で、「生活支援ネットワーク事業＝二宮社協たすけあいネットワーク」は、低料金で生活支援が受けられる便利なシステムだがまだ全町に浸透しきれず普及していない。毎日ボランティアのコーディネーターが電話番しているのだから、積極的な活用が求められる。また、たすけあいネットワークとは別に「日常生活自立支援事業」という、福祉サービスの利用や金融機関などの手続きが困難な方の支援を低額で引き受ける事業も知られていない。たすけあいネットワークのコーディネーターさんの会議では、宣伝が足りないという意見も出ていると聞くが広報や事業充実についての取り組みを聞く。</p>
---	--------------	--

6	柳川 駅司 議員	<p><b>鳥獣被害について</b>  <b>(放映件名：鳥獣被害について)</b></p> <p>年々鳥獣による、農作物の被害は増すばかり。ごみ収集場では、鳥による被害も相変わらずだ。農作物被害に対し、町では檻・ワナ等を用意してくれたり、電気柵を購入した場合は補助金を出してくれ設置者も増え、それぞれ効果は出ているが被害は増すばかり。農家によっては耕作放棄地まで出ている。また、ごみ収集場における鳥による被害は汚らしいの一言に尽きる。時間が経って片付けられているが、鳥獣が増えていること、夜間ばかりでなく昼間でも活動する動物がいることを考えると、この散乱した生ごみを食べに来ることも考えられる。今まで、鳥獣被害は農村部だけの問題と思われていたが、増加している鳥獣は住宅地にも出没しても不思議ではない。二宮町がこの様にならない事を願い以下の事について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鳥獣による被害の現況</li> <li>2. 鳥獣被害に対しての現在までの取り組み</li> <li>3. 鳥獣被害に対しての今後の取り組みは</li> </ol>
---	-------------	---